

風物詩

元旦の小岱山で。初日の出と、子供たちとたき火。組合員のYさん写す。(カラー)



二月のこよみ

○…如月(きさらぎ)。三日節。ト記念日多くなっています。分、四日立春、八日は針供養。十一日(金)建国記念日、初年。十二日(土)旧暦元日、十四日の聖パレンティンデーは近頃、チョコレつり、水戸梅まつり(二十日)京きそう。

都北野梅花祭(二十五日)など春をよぶ祭りも盛ん。

○…この冬は比較的穏やかな暖冬傾向が続くそう、という長期予報で、二月も温暖な日が多くなり

寒さが本格化するにつれ、カゼの抵抗力が弱まっているためです。寝込む人が増えそうです。カゼに特効薬はなく、ウィルスの感染を防ぐのも容易ではありませんが、それらを抑えるのが肝要。カゼにも発病の条件がありますから、それらをとり除くことが大切になります。

暮らしの暮の

安静にするのが一番

カゼの予防と治療

寒さが本格化するにつれ、カゼの抵抗力が弱まっているためです。寝込む人が増えそうです。カゼに特効薬はなく、ウィルスの感染を防ぐのも容易ではありませんが、それらを抑えるのが肝要。カゼにも発病の条件がありますから、それらをとり除くことが大切になります。

地域交流座談会を開きます

当面の労働、福利のたかひ、そして八三春闘、統一地方選などについて、委員による地域交流座談会を開きます。

肥後狂句

佐藤勉

悔つて免許の腕た知らだつた
変れば変わるわが故郷もダムの底
うわべだけ真の愛が欲しかった
このつぎ示談なら早ようしまつしゅう
この辺でお手拝借といきますか
脈のあるあとひと押しで俺がもん
ホントホント夢食う虫もおつたげな
捨てたらん物資愛護が抜けきらん
荒れた人情のわけは知らつさん
国会でけまつれ出あた予算案

58年度 定年退職者

説明会のご案内

例年のように定年退職予定者に
たいする説明会を催します。該当
者はぜひご参加下さい。
とき 二月六日(日)
ところ 玉名「紅葉館」
対象者 昭和五十八年四月一日
から五十九年三月三十一日までの
定年退職予定者。
バス配車 大牟田郵便局前(8
30)、三川旧山源前(8・40)
※ 資料および昼食を準備します。



ほんげんぎよう

東ブロック 森川久美子

陽が落ちて、辺りの山々に夜の
とぼりがはじまる。
子供たちが自転車に乗り、歩い
て、それぞれのビニール袋に饅餅
や小さい小餅を入れて田んぼに急
ぐ。
田んぼを見ると、夕暗の中に竹
で組んだ、高い笹山が見えた。
「ほんげんぎようだ」。ふと、
あがる。

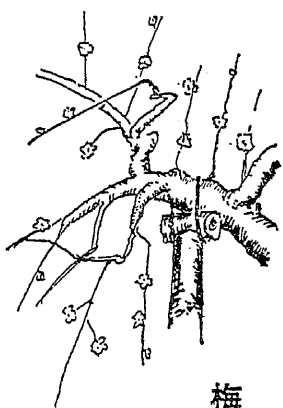


歳旦歳暮

十二分会(三川) 町佳郎

分ちたるケーキの太き父さん(めこ) 祝いくるるわが誕生日
正月に用いよと届きし紅鯉の荷をほごきつうれし姉の心の
角に潜み眼こらして待ちしならんバイクのおみな網にかかり(歳末警戒)
せき立てらるる思いに冷雨夜を妻と年賀状書きつきており
歳末の夜の町に出づ子連れで古びたついで買換えんとして
一年の仕事納めの昼休みなぎらいつつ同僚(とも)らと酒分ち飲む
冬きりて用い少なき机の上のほこりはいつつ暮れの迫りぬ
歳暮などいくつ積みある床の間のぬぐい清めつつ餅(もち)飾りぬ
稜線をのぼり来し初日のうららとわが庭の辺におしうつりきぬ
湯気あぐるぞうに食(は)みつつ子のみたり今年やりたきこと話している

2月の園芸



梅

十四分会(三川) 田上 勇
ニシキマツの
挿し木

バラのせん定の好期、今月中
に実施出来ます。地上約四十セ
ンチ位の所から切り取り、古く
なつた幹は根元から切り、若い
芽を残すようにします。注意し
なければならぬのは、よく芽
を見て、その上を余分に切らな
いと切り口が割れることがあり
ます。葉は残らなくても結構で
す。せん定後は石灰硫黄合剤の
八倍液で消毒します。八倍液は
濃い方です。花芽のついたも
のや、松、ナンテンなどのよう
なものは薬害に注意して下さい。
いつものことですが、石灰硫黄
合剤使用後は食酢をうすめて洗
って下さい。

梅の植えかえ

正月用の松竹梅の寄せ植え盆
栽も、梅の花が咲きおわたら
植え替えて肥培をはかる方が賢
明でしょう。花が八分通り咲き
おわたら花柄をつみ取り、二
三芽のこして切り詰め、根も
一、二割切り込み、用土をふる
いおとし、赤玉土に腐葉土を二
割位を混ぜ合せ、根に十分にき
わたらせ植え込みます。しばらく
は日の強く当らぬ所におき、
表土がかわいたら水を与え、肥
料は一週間後に与えるようにし
て下さい。